

2007年1月23日

今年度「水素安全利用の国際共同研究」

NEED-O、12テーマ決定

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEED-O）は06年度「水素安全利用等基礎技術開発事業の国際共同研究」として「アンモニアを活用した高容量水素貯蔵複合化物

質の創製技術の構築」を委託先として広島大学、再委託先としてノルウェー国立エネルギー技術研究所、広島市産業振興センターなど12テーマを決定した。

04年度から実施しており、燃料電池実用化のためのブレイクスルーが必要で、水素の製造、輸送、貯蔵、安全性確保など技術的課題の解決が狙い。日本法人が委託先となり、再委託先となる外国

法人など国際共同研究を行う。20件の提案から選出した。

その他の決定テーマは次の通り（カッコ内は委託先および再委託先）。

▽超高圧水素化合物合成技術に基づく高密度水素貯蔵物質設計に関する研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）
▽ナノオーダー構造組織制御による

高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）
▽ナノオーダー構造組織制御による高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）
▽ナノオーダー構造組織制御による高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）

▽ナノオーダー構造組織制御による高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）
▽ナノオーダー構造組織制御による高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）
▽ナノオーダー構造組織制御による高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）

▽ナノオーダー構造組織制御による高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）
▽ナノオーダー構造組織制御による高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）
▽ナノオーダー構造組織制御による高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）

▽ナノオーダー構造組織制御による高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）
▽ナノオーダー構造組織制御による高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）
▽ナノオーダー構造組織制御による高吸蔵量水素貯蔵材料の研究開発（産業技術総合研究所、ノルウェー国立エネルギー技術研究所）